

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和4年3月19日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4697000034
法人名	医療法人 坂元内科クリニック
事業所名	グループホーム すまいる
所在地	鹿児島県曾於郡大崎町永吉8355番地2 (電話) 099-471-7250
自己評価作成日	令和4年2月8日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和4年3月9日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

毎日の生活を明るく笑顔で入居者の方も職員も過ごせるように援助しています。クリニックと隣接している利点を活かし体調管理にも気を配っています。入居者の方が穏やかに生活を送る場所として季節の行事や食事会などを提供しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は、母体医療機関と隣接し、訪問診療で利用者全員に目を配り、日常の健康管理や緊急時の24時間医療連携体制が整っている。
- ・自治会に加入し、運営推進会議の参加や中学生の職場体験、ボランティアの受け入れ等、地域交流があるが、コロナ禍の為、自粛している。終息すれば復活していくように検討している。
- ・市との信頼関係もあり、事業所からの相談や要望にもよく対応してもらい、市からの依頼に応じるなど協力関係ができています。
- ・管理者と職員のコミュニケーションが良好で、研修会参加や資格取得の支援があり、働きやすい職場環境を目指している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎月の職員会議で情報交換を行っている。職員トイレ等目に付く所に理念を掲げている	地域密着型サービスの意義を踏まえた理念と基本方針があり、パンフレットに載せ、玄関ホールや職員トイレに掲示し、職員会議やミーティングで振り返り確認し理念を共有し、実践している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会の代表者が運営推進会議に参加していただき近況状況等の報告をしていただいている。 ※感染症予防の為、交流は行っていない。	自治会に加入し、回覧板で情報を得ている。地区の清掃に参加したり、認知症に対する不安の相談等を受けている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	自治会の会員になっており、以前より親密な関係を保っており地域の方より相談を受けたりしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	隔月ごとに運営推進会議を開催している。（感染症予防の為、文章にて運営状況や入居者の日々の様子を報告している。	会議は2ヶ月に1回開催しているが、コロナ禍の為、市の了承を得て、委員に先に意見をもらい、書面会議としている。事業所の現状を運営会議録で報告し、意見を得ている。コロナに関する意見が多く、サービス向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	行政の担当者との連携を密に取り、サービスの向上に努めている。	運営推進会議はコロナ禍の為、書面で参加をもらい、窓口訪問や電話・メールで相談等を行い、重要課題等を話し合い、情報を共有し協力関係を構築している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	マニュアルを作成し職員会議等で話し合っている。日中は鍵を掛けないケアに取り組んでいる。	指針を基に身体拘束廃止委員会を毎月開催し、マニュアルがあり身体拘束禁止研修は具体的事例を用いて行っている。外部研修は資料またはリモートである。言葉の拘束や施錠を含め拘束のないケアを目指している。日中の玄関の施錠はしていない。外出したい人には職員が同行して気持ちの落ち着くまで付き添っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	事業所内の勉強会を開催し、虐待を見過ごさず事がないように虐待予防に取り組んでいる。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見制度について学ぶ機会を設け、必要時は専門家への相談も含め対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時にはご家族の不安を軽減し、理解を得られるように十分な説明に努めている。後日の疑問や不安点などもその都度応えられるようにしている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>玄関に意見箱を設置している。意見・要望等があれば、その都度検討し対応している。</p>	<p>利用者は日常の会話の中から意見や要望を聴き、家族からは面会時やアンケート・便り・電話等で意見を聞いている。要望により美容院の手配をして、職員が入口まで同行している。コロナに関する質問が多く対応している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員による意見や提案については随時受け付け、その都度話し合っている。</p>	<p>日頃からコミュニケーションを密に、職員会議やミーティングで意見が活発に出ている。個人相談は随時行っている。風呂場のエアコン設置、洗濯乾燥機の追加要望なども設置できた。職員の処遇向上を目指し、反映している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員が無理なく、やりがいや楽しさを持って働けるような環境づくりに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修会への参加を個人の能力に合わせ設定し、職員全体のスキルの向上に努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>大隅地区介護事業所連絡会に属し、研修会等に参加し交流を図っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>サービス利用の段階で本人が思っていること、不安なこと要望などに耳を傾けながら本人が安心して過ごせるような関係作りに努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>サービスの利用を開始する段階で家族等の困っていること、不安なこと要望等に耳を傾け聞き取ることで関係作りに努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>インテークとアセスメントの段階で家族・本人がまず必要としている支援を出来るだけ見極め他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>本人の状況に合わせてなじみのスタッフが共に会話をしながら関係性を深めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>コロナウイルス蔓延の為、ご家族との面会は出来ていませんが電話連絡等でご家族との関係を大切にしている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>本人が在宅での馴染みの関係の方や、となり近所などの関係が途切れないように声掛けを行っている。</p>	<p>馴染みの知人から電話がある。馴染みの美容室の訪問もあり買い物代行をしたり、医療機関受診の帰りに自宅周辺をドライブしている。馴染みの人や場との関係が、途切れないようにしている。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>利用者同士の関係性を把握して一人一人が孤立しないようにスタッフが間に入って支援に努めている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>サービス利用が終了してもこれまでの関係性を大切に、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし支援に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々生活していくうえで本人の思いや希望などを声掛けや会話を通して把握出来るようにしている。	入所時にアセスメントを行ない、日々の暮らしの中で会話を通して思いを聞いている。散歩に行きたい、イチゴやメロンが食べたい等、個々の思いを聞き対応している。困難な場合はしぐさや表情等から推測し、家族とも相談して本人の思いに沿って対応している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時の情報をもとに日々の生活の中で接することで得た情報を共有しこれまでの暮らしを理解できるようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	現在の本人の状況などを入居時の記録と比べながら現状の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	各担当職員がモニタリングし、それを基に補足する形で写真入りのモニタリングを作成し現状に合ったプランを家族を含め話し合いながら作成している。	本人や家族の思いを聞き、主治医の意見を取り入れて、介護記録から職員で話し合い、介護計画を作成している。毎月、担当職員が本人の写真を添え体重も記録している。モニタリングは3ヶ月毎に、見直しは6ヶ月毎に、必要時に現状に即した計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別の看護記録へ異常時・病院受診時記入している。職員間の情報共有は口頭で伝達を行っている。介護計画は実施できていない。</p>			
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人、家族の要望など出来るだけ沿えるように画一的ではない個別の対応ができるように支援している。</p>			
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>本人の心身がコントロールできるように声掛けを行い、安心・安全な生活が送れるように心掛ける</p>			
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>家族の意見を尊重し、かかりつけ医と相談して他病院への受診も積極的に行っている。</p>	<p>家族や本人の希望による、母体医療機関がかかりつけ医である。月2回の訪問診療があるが、必要時は毎日でも訪問がある。24時間緊急対応もあり、他科受診も看護職員と家族が同行し、適切な医療を受けている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>介護職員からの気づきや異常等、報告・相談されそれに基づいて受診し治療、看護を行っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入退院は入院先の相談員とよく相談し、家族、本人の意向を踏まえて退院出来る関係づくりを行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>希望された入居者については特別養護老人ホームへの申し込みなど説明している。当事業所での重度化への対応できる事柄にも説明を行っている。</p>	<p>入所時に「重度化や終末期に向けた方針」を説明し、同意書をもっている。医療機関か特別養護老人ホームの選択肢があることを説明している。段階的に医師が本人や家族の希望を聞き、職員の意見を確認し支援している。看取りの事例がある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時の事故発生等の訓練は今後も継続していく。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>避難訓練の実施は年2回行っている。地域との協力体制も充実したものにしていきたい。</p>	<p>年2回、消防署立会いの下1回、自主訓練で1回、避難訓練を実施している。避難場所・避難経路・誘導の仕方・通報訓練等を行っている。消防設備業者も参加し緊急通報装置を確認している。スプリンクラーもある。隣接母体医療機関や地域の協力ができている。備蓄は、水・米・カップ麺・レトルト食品・カレー等があり、カセットコンロや発電機もある。災害時の地域住民の受け入れ場所にもなっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者一人ひとりの人格を大切に尊重しプライバシーを損ねない言葉かけや1日を楽しく快適に過ごせるように努めている。	マニュアルがあり年間計画の中で接遇研修を行い、気が付いた時は随時指導している。入浴や排泄・入れ歯の取り外し時の言葉かけに配慮し、呼称は馴れ合いにならないよう、さんづけである。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	毎日の生活の中で自分の意思や希望を表現できる雰囲気作りを行い良い関係を築けるように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの生活パターンやペースを尊重し毎日を快適に過ごせるように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	服装などは毎日の整容で整え本人の希望に沿うように支援している。訪問理容も利用している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は一人ひとりの嗜好に合わせて季節ごとの食材を使用したり菜園の野菜を使ってバランスのとれた食事を提供出来るように工夫しています。	嗜好調査を行い、個々の嗜好に合わせ、食形態やアレルギーに注意し、散し寿司・がね作り・ホットケーキ等、土曜日に好きなものを作って楽しんでいる。行事食・おせち料理・クリスマス・敬老の日・弁当等、楽しい食事になるように提供している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分の摂取量をチェック表に記入確認し咀嚼・嚥下状態により食事の形態、トロミ剤やストローなどを使用し個々に対応している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食口腔ケアにて口腔内の状態を観察し個々の能力と合わせブラシの使用工夫、準備や介助の工夫を行っている。1日1回義歯の消毒を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表にて個々の排泄パターンを把握し声掛けやトイレ誘導を行い、能力に応じた支援に努めている。	排泄チェック表があり、個々のパターンを把握して、羞恥心に配慮し時間を見て誘導している。基本的に昼間は歩行でトイレでの排泄を支援している。テープつきおむつの方がリハビリパンツや布パンツに改善した事例がある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便通を促すためヨーグルトの提供を行い体操やレクリエーション活動等で身体を動かす機会を設け腹圧のかかりにくい方に対しては腹部マッサージを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週3回入浴を行っている。希望やタイミングに合わせた入浴を行っている。	入浴は月・木・金が定期、土・日が希望で午前中に対応し週3回以上としている。毎日入浴も可能である。柔軟に支援している。汚染時の対応もすぐできる。拒否の場合はタイミングを見て、入浴剤の使用や足浴もあり、入浴できている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	安心した休息が出来るように努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師が管理し状態の変化時には主治医へ報告し状況の把握に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	毎朝、ラジオ体操や個人に合ったレクリエーションに取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>コロナ禍の為、外出は出来ない状況ですが季節に応じた花を玄関に置いたりしている。</p>	<p>コロナ感染防止の為に行事や外出は自粛している。日常的に散歩をしたり、菜園に行ったり、広いウッドデッキで外気浴をしている。ひな祭りをしたり、甘酒を飲んだり、季節を感じられるように配慮している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>基本的には現金は所持されていない。今後現金を所持したいという希望があれば必要に応じて支援していく。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>家族等の電話があれば繋いだり、自ら電話や手紙のやり取りが自由に出来るよう日々支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>庭にはベランダがあり、どこからでも出入りができ、開放的な大きな窓があり光も多く入りやすい空間作りとなっている</p>	<p>広いホールは天井が高く大きな窓があり明るい。ウッドデッキは2ヶ所あり、自由に出入りできる。スタンドグラス風な玄関引き戸で、温度・湿度・換気に配慮している。畳コーナーやテレビは2台、大きなソファもあり季節感のある作品が飾っている。台所は対面式で調理の様子が見え声かけもできる。ゆったりしたなかで暮らしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	仲の良い人や気の合う人を近くの席にしている。また、自由に自室へ戻れるよう対応している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室内は本人の思い出のある品などを持ち込んで頂き写真や手紙・絵などレイアウトする等している。	エアコン・電動ベッド・洗面台・タンス・クローゼットを設置し、布団・テレビ・家族写真・時計・洋服かけ等を持ち込み、花や人形を飾って好きな空間を作っている。心地よく過ごせるように設営している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室ドアには本人の写真を貼りトイレにも張り紙をする等工夫し混乱を防ぐように努めている。自由にタンスを使用できるようベッドとタンスの間隔にも配慮し安全に移動できるように努めている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
		○	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない